



新本っ子

学校通信 No. 2
令和4年4月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和4年4月12日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

令和4年度 新学期の始まりにあたり



4月7日(木)に新学期が始まり5日たちました。明日13日には新入生児童14名が入学します。本年度、新本小学校は、1年生14名、2年生10名、3年生13名、4年生9名、5年生14名、6年生13名で、全校児童73名となります。

校庭の満開の桜のように、学校はフレッシュな新入生と進級の喜びで張り切る2年生以上の在校生で活気に満ちあふれた全校スタートを迎えます。

元気で活気ある子どもたちに負けないよう、私たちも新年度のスタートに当たり、魅力ある学校・学級づくり、地域とともにある学校づくりに全教職員で取り組まなければと、気持ちを新たにしているところです。



本校が、子どもにとって「行きたい」、保護者にとって「任せて安心 行かせたい」、地域にとって「自慢したい」学校となるよう本年度もがんばります。

【学校教育目標】

「豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する」

【目指す子ども像】

新 ・ ・ 自分で考える子

本 ・ ・ 本気で取り組む子

義 ・ ・ きまりを守る子

民 ・ ・ みんなで仲良く元気な子

【具体的な目標・計画（抜粋）】

- ・授業における話し合い活動、協同学習の推進（1日30分以上）
- ・学習におけるICT機器の効果的な活用と習熟
- ・よさを認め合い、ほめて育てる教育の推進
- ・義民祭、赤米作りなど地域の特色ある教育活動の推進
- ・英語特区活動によるコミュニケーション力の向上
（大学との連携・新本オリジナルによる授業の実践）
- ・音楽特区活動による音楽教育の充実と情操教育の推進
（大学・音楽専門家との連携）



「あたりまえ」の大切さ【始業式講話（4月7日）】

（前略）この1年のスタートを切るにあたって「あたりまえ」についてお話をします。先ほどの着任式では、新任の先生方のお話をしっかりきちんと聞いていましたね。素晴らしいです。



話を聞くという行いには、相手の伝えたい内容を分かろうとする、話す内容と話し方を通してその人の思いや願い、人柄を理解しようとする事が含まれています。

このように、「あたりまえ」だと思って無意識にしている行いには、大切な理由がたくさん含まれています。

家にあがるとき、玄関で靴を揃えるということは当たり前のことです。でも、この靴を揃えるという行いには、自分が次に履くときに履きやすくなると同時に、きれいに整とんされていると、他の人が靴を脱ぐとき、他の人に迷惑をかけないで済みます。



あたりまえのことをあたりまえのようにすることは、とても素晴らしいことです。しかし、私たちはときに、このあたりまえのことを、いい加減にしたり、面倒なあまりしなかったりすることがあります。

しかし、あたりまえのことがあたりまえのようにできなければ、特別なことをするときに必要な力は発揮できませんね。あたりまえのことをきちんとていねいにすることで必要な力を着実に身につけることができます。



まずは、気持ちのよいあいさつや返事をする、靴をそろえるという「あたりまえのこと」にチャレンジしてほしいと思います。（後略）